

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： 分類研究分科会

代表者氏名： 藤倉 恵一 TEL：048-974-8811(1702)
 所属機関： 文教大学越谷図書館 FAX：048-978-1229
 E-mail：sieglar@lib.bunkyo.ac.jp

研究テーマ：

件名、シソーラス、Indexing 理論等を含んだ“トータル”な意味での図書館分類法とその理論に関する研究を基本テーマとする。

今期は特定の図書館分類法に関する研究をいちど離れ、いま図書館で考えなくてはならない分類についてその基本を考えたい。そもそも、本を分類するときになぜ「迷い」が生じるのか。全文検索が隆盛である中で、なぜ分類についてなおも考えなくてはいけないのか。図書館の必備の知識である分類について、その根幹から考え直す。

研究計画：

2年間という活動期間を、

第一期：社会一般でいうところの「分類」に関係した文献および現代図書館分類法理論に関する最近の論考のレビューを通じて参加者全員の理論的な基礎レベルを整える

第二期：図書館界における「分類」に関する諸問題について討議する

第三期：2年間の総まとめを行う

という大きく三つの期間に分けて研究を行う。

参加条件：

会の研究テーマに興味・関心があり、かつ他の会員と共同して研究を積極的に進めていく意欲のある者

応募条件：

特になし

開催頻度：

月1回(年10回)
8月・1月休会

研究合宿：

年1回
(8月下旬～9月上旬
予定)

年会費：

なし

募集人員：

制限なし

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： 逐次刊行物研究分科会

代表者氏名：岡田 光世 TEL：03-3762-4151
 所属機関：東邦大学医学メディアセンター FAX：03-3764-1642
 E-mail：teruyo@mnc.toho-u.ac.jp

研究テーマ：

1. 図書館における学術資料としての逐次刊行物の研究
2. 逐次刊行物業務の可能性と実践理論の追求
3. 会員各自の問題意識を重視した個別的な方法論の研究
 具体的には、学術情報流通について、電子ジャーナル・オンラインデータベースの契約や運用管理、または収集、目録、排架・整理、利用規則、製本、除籍といった従来の逐次刊行物の効果的な蔵書形成 など

研究計画：

- 共同研究： 会員に共通したテーマを取り上げ、1年（ないし2年）かけ研究・レポート作成、口頭発表をおこなう
- 個人研究： 各自テーマに沿って関連する文献レビューを行い研究・報告・意見交換をおこなう
- その他： 図書館・企業等の施設見学、講演会開催、業務上の情報交換 など

参加条件：

1. 共同研究で報告が必要となる場合は発表すること、また報告集に論文を執筆すること
2. 会員である間は個人研究発表（文献レビュー等）をおこなうこと
3. 会場提供が可能であること
4. 代表者から運営委員を依頼された場合は、その役割を果たすこと
5. やむを得ない場合を除いては途中退会しないこと

応募条件：

逐次刊行物業務に関心のある図書館員（直接の逐次刊行物業務担当者でなくても可）で逐次刊行物業務に対する問題意識をもっていること

開催頻度：

年 10 回程度

研究合宿：

夏季期間（8～9月）
のうち 2 日間

年会費：

2,000 円

募集人員：

制限なし

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： パブリック・サービス研究分科会

代表者氏名：東家由朗（とうやよしろう） TEL：03-3238-3501
 所属機関：上智大学図書館 FAX：03-3238-3139
 E-mail：psbunka@yahoo.co.jp

研究テーマ：

当分科会では図書館界の最新動向や、図書館員としての専門性を高めるための基礎となる情報を提供します。講義から知識を養い、討議やケースメソッドを通じてコミュニケーション能力や感性を養います。「知識」「技能」「感性」、そして「図書館員としての品格」を備えた“Elegant Librarian”として当分科会から巣立っていくことを願っています。

講義の中で興味をもったトピックや、会員との情報交換から得たものを足がかりに大いに会員で討議し、研究します。

研究計画：

分科会のファシリテーター的な立場である慶應義塾大学の加藤好郎氏と連携し活動を進めています。

- ・ 講義（詳細はHPで過去の講義内容を参照下さい
<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/public/kougi.htm>）
- ・ グループ研究（講義、意見交換の中でテーマを選定し、研究活動を行う）
- ・ 図書館見学（慶應義塾大学他、会員の所属図書館を積極的に視察する）

参加条件：

会期の8割以上出席できる方

応募条件：

- ・ 講義内容に興味を持った方
- ・ 司書資格がないのに図書館に配属されて困っている方
- ・ 司書資格はあるが、業務にまだ自身のもてない方
- ・ 学外の職員とのネットワークを築きたい方
- ・ 図書館勤務年数が0年～9年の方

過去に当分科会に参加した方も歓迎します

年会費は10回の月例会費用（講義、活動費含む）で新会員で額を決定致します

| | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 開催頻度： 毎月 1回 年 10回 | 研究合宿： 年 1回 （2泊3日、8～9月） | 年会費： 8,000円 （予定額） | 募集人員： 20～25名 |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|------------------------|

2008/2009年度研究分科会会員募集要項

| | | | |
|--|----------------------------|---|----------------------|
| <p>名 称： 図書館運営戦略研究分科会</p> | | | |
| <p>代表者氏名： 櫻 井 友 美 所属機関： 国土館大学</p> | | <p>TEL： 03-5481-5837 FAX： 03-3411-2059 E-mail： stomomi@kokushikan.ac.jp</p> | |
| <p>研究テーマ： 参加者が各大学図書館における「図書館運営の中・長期構想」の作成に携わることを想定し、図書館運営への意識向上を目指します。</p> | | | |
| <p>研究計画： 図書館各業務について多面的に考察し、あるべき大学図書館像を提示することを目的としています。活動は、現行の図書館業務の把握と整理からはじめ、討議を中心とした「情報の交換」、「現状の把握」、「問題解決の方策」等に重点をおき、今後の図書館運営に携わる際の基礎能力を高めることを目指します。</p> | | | |
| <p>参加条件： 図書館業務の経験年数は不問。 自分の意見をきちんと述べられること。 会場の提供は全参加館の持ち回りでおこなう。</p> | | | |
| <p>応募条件： 特になし</p> | | | |
| <p>開催頻度： 月1回（第3木曜日 13時30分より開 催予定。但し、業務 繁忙期は休会。）</p> | <p>研究合宿： 夏期合宿年1回予定</p> | <p>年会費： なし</p> | <p>募集人員： 10人</p> |

2008/2009年度研究分科会会員募集要項

| | | | |
|---|--|---|-----------------------------|
| <p>名 称： レファレンス研究分科会</p> | | | |
| <p>代表者氏名：三上 彰 所属機関：桜美林大学図書館</p> | | <p>TEL：042-797-9992 FAX：042-797-6755 E-mail：arika115@obirin.ac.jp</p> | |
| <p>研究テーマ： 当分科会では、参加する各会員の所属する図書館の状況（図書館サービスの体制、レファレンス業務の状況等）について情報交換することから各会員間の相互理解を深めていき、事例研究、文献レビュー等も行なっていきます。その後、それぞれの興味や問題意識をできるだけ生かせるような全体の研究テーマを設定して、研究活動に力を入れていきたいと考えています。近年の研究テーマとしては、「デジタルレファレンス」「レファレンスサービスと情報リテラシー教育」等を扱っています。</p> | | | |
| <p>研究計画： 月1回の月例会を開催します。（2月、8月は休会） 8月または9月に研究合宿を行ないます。 ・共通テーマに基づく共同研究活動 ・レファレンス事例研究 ・レファレンスツール研究 ・ニュースレター発行（メール） ・講演会開催 ・専門機関探訪 ・図書館見学</p> | | | |
| <p>参加条件： 1年に1回程度、月例会の会場をご提供いただけること。（月例会は、参加会員の所属大学にて、持ち回りで開催しています。） 当分科会では、基本的に全会員で役割を分担して運営しています。必要に応じて、会計やホームページの担当等の役割を担っていただくこととなります。</p> | | | |
| <p>応募条件： レファレンスサービスに関心のある方、デジタル情報サービスの今後のあり方について興味のある方、その他レファレンス業務全般について知識を深めていきたい方であれば、レファレンス業務の経験や担当であるなしに関わらず、どなたでも積極的にご参加ください。</p> | | | |
| <p>開催頻度： 月例会・・・月1回 （2月、8月は休会）</p> | <p>研究合宿： 夏期研究合宿 （8月または9月に、1泊2日～2泊3日程度）</p> | <p>年会費： 1,000円</p> | <p>募集人員： 特に制限は設けません</p> |

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： 理工学研究分科会

代表者氏名：小林 瑞希 TEL：03-3817-1981
 所属機関：中央大学図書館都心キャンパス事務室 FAX：03-3817-1978
 E-mail：kiringo@tamajs.chuo-u.ac.jp

研究テーマ：理工学系図書館における科学技術情報サービスのあり方

研究計画：
 1. 理工系文献探索ガイダンスの研究（ガイダンスモデルの作成、実施と検証）
 2. 理工系資料の研究
 3. 講演会・専門機関の見学会

参加条件：
 例会において、以下の事項を輪番で行う。
 1. 研究発表等
 2. 会場の提供
 3. 進行・記録
 * メール会員対応可

応募条件：
 理工系大学および理工系学部・学科のある大学図書館職員の方で、この分野に関心のある方。
 メール会員：理工系分野に関心のある方。（元理工系図書館の方歓迎）

開催頻度：
 年10回

研究合宿：
 なし

年会費：
 無料

募集人員：
 制限なし

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： 相互協力研究分科会

代表者氏名： 清水 ゆかり
所属機関： 杏林大学医学図書館

TEL：0422-47-5511 内線 3321
FAX：0422-40-7281
E-mail：yukari@lib.kyorin-u.ac.jp

研究テーマ：

NACSIS-ILL、地域図書館との協力、海外 ILL、著作権法など、相互協力に関すること全般。2008/2009 年度の会員で意見を出し合って決めていただきます。

研究計画：

相互協力研究分科会では、NACSIS-ILL、海外 ILL、著作権法など、相互協力に関すること全般を研究テーマとして活動を続けています。

今期第 14 期は近年導入館が増加している「利用者による ILL オンライン申込」に焦点を当て、共同研究テーマといたしました。私立大学図書館協会東地区部会加盟館 251 校を対象にアンケート調査を行い、集計結果を分析することで成果をあげています。

来期メンバーにも、時代に即した有益な研究テーマを選択し、活発に活動していただきたいと考えています。

参加条件：

相互協力業務に関心があり、2 年間継続して参加できる見通しのある方。分科会活動に積極的に参加し、共同研究に意欲を持って臨む方。

正会員・・・中核となって動くメンバーです。例会開催のための会場（会議室等）提供や司会・書記、分科会運営のための役割分担（代表・会計等）をお願いいたします。

正 ML ネット会員・・・主に ML 上で参加していただきますが例会にも積極的にご参加ください。少なくとも 2008 年 4 月の初回例会には会費徴収と顔合わせのためご出席をお願いいたします。

<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/manyuaru/bunkakai07.pdf> も合わせてご覧ください。

応募条件：

経験等は問いません。

開催頻度：

8,9,2 月を除く年 9 回の例会（原則として第 3 木曜日）と、合宿または集中研究会

研究合宿：

8 月か 9 月に 2 泊 3 日程度、もしくは 2 日程度の集中研究会

年会費：

正会員 2,000 円
正 ML ネット会員
1,000 円

募集人員：

制限なし

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： 西洋古版本研究分科会

代表者氏名：金田陽治

TEL：03-3482-9147

所属機関：成城大学図書館

FAX：03-3482-7221

E-mail：yojik@seiyo.ac.jp

研究テーマ：

研究活動を通して、西洋古版本を実際に扱う上での必要な知識の習得を目指します。

(案1) 目録、保存、利用など日常業務に直接関連したものについての研究

(案2) 書誌学、欧州出版・印刷史など西洋古版本に関連した事項についての研究

研究計画：

会員の参加状況や構成にあわせた研究、あるいは研修活動。

平日午後の月例会と夏期合宿を計画しています。

参加条件：

1. 西洋古版本に関する知識を必要としている方や、西洋古版本に興味がある方。

2. 所属館において月例会の会場提供(資料・施設見学を含む)が可能な方。

3. 研究活動以外の会務に協力できる方。

応募条件：

1. 各自で興味を持っているテーマや関心のある事項などを具体的にお書き下さい。

2. 所属館でお持ちの特色のある洋書のコレクション、貴重資料などについてお書き下さい。

上記、1, 2を参加申込書の「研究テーマ」欄に記入してください。

開催頻度：

年間10回
(8月、翌2月を
除く)

研究合宿：

8月または9月の
2～3日間

年会費：

1500円

募集人員：

特になし

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

| | | | |
|--|-------------------------------|--|---------------------------|
| <p>名 称： 企画広報研究分科会</p> | | | |
| <p>代表者氏名： 石川 敬史 所属機関： 工学院大学図書館</p> | | <p>TEL：03-3340-0133 FAX：03-5322-8570 E-mail：takashi_ishikawa@sc.kogakuin.ac.jp</p> | |
| <p>研究テーマ： 図書館広報研究と共同利用ツールの開発・運用</p> <p>図書館の便利さを効果的に伝える広報手段を探求するとともに、各図書館の実践に直接反映できる共同利用ツールの開発・運用を行なう。</p> | | | |
| <p>研究計画：</p> <p>* 研究計画には、次のようなことが考えられます。具体的な内容は、新しいメンバーとともに検討します。</p> <p>(1)「Lib.PR:図書館広報実践支援サイト」の運用と拡充 ・「図書館広報実践講座」を継続し、パート3の企画の検討</p> <p>(2)新しい図書館広報ツールの企画と製作 ・本の架や他の広報グッズの企画</p> <p>(3)「パスファインダーバンク」の運用 ・図書館ホームページ掲載のパスファインダーの調査等 ・パスファインダーバンクの活性化策の立案</p> <p>(4)その他 ・国内外の事例研究，文献研究</p> | | | |
| <p>参加条件：</p> <p>* 所属部署からの正式派遣以外に、個人参加でも可能。</p> <p>(1)正会員 ・月例研究会に出席できる方。</p> <p>(2)ML 会員 ・メーリングリストで共同研究に参加できる方。</p> | | | |
| <p>応募条件：</p> <p>(1)図書館広報，グッズ製作，パスファインダーバンク，図書館利用教育などに関心のある方。</p> <p>(2)所属部署や担当業務，経験年数は不問。</p> | | | |
| <p>開催頻度： 月例会は、2月（もしくは3月）を除く年11回を予定。</p> | <p>研究合宿： 大学の夏期休業中に開催。</p> | <p>年会費： 正会員：2000円 ML 会員：1000円</p> | <p>募集人員： 特に制限しない。</p> |

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： 和漢古典籍研究分科会

代表者氏名： 山田裕之 TEL：03-3702-1141(代)
 所属機関： 多摩美術大学上野毛図書館 FAX：03-3702-1143
 E-mail：yamadah@tamabi.ac.jp

研究テーマ：

日本や中国・朝鮮半島で刊行された古典籍資料について、大学図書館員として必要な書誌学的知識や書誌作成能力を養うことを目指す。テキスト学習と並行して、実際の資料を使った調書の作成実習を行うなかで、情報源への精通、装丁や紙質の違い、刊印修の検討から取り扱いの方法まで、経験を通じ学んでゆく。

研究計画：

- ・和漢古典籍の知識習得の為、指定したテキストを輪読
- ・参加会員所属図書館または各種機関が所蔵する古典籍資料の書誌作成
- ・施設見学
- ・展覧会参観 等

参加条件：

- ・月例会への参加（毎月1回、13:00～17:00）
- ・月例会会場の提供（年1～2回）

応募条件：

- ・古典籍に興味のある方。経験不問。初心者大歓迎。
- ・分科会でやってみたいことを参加申込書の研究テーマ欄に記入して下さい。

開催頻度：
原則毎月1回

研究合宿：
8月下旬に開催予定
(2泊3日)

年会費：
無料

募集人員：
特に定めず

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称：北海道地区研究分科会

代表者氏名：京谷正博

TEL：011-386-8111

所属機関：札幌学院大学図書館

FAX：011-388-2057

E-mail：kyouya@ims.sgu.ac.jp

研究テーマ：

北海道地区研究分科会は、他の研究課題別分科会とは異なり私立大学図書館協会に加盟する北海道地区の図書館員を対象に 北海道地区大学図書館の利用と相互協力の推進、 図書館業務の改善と図書館職員の資質向上、 その他、大学図書館における諸課題についての検討・研究と情報交換を基本テーマとして活動しています。

研究計画：

具体的な活動内容として月例会を年6回予定しております。5月・9月・11月は会員による研究報告、7月・10月・12月は北海道地区私立大学図書館協議会との共催による研修講演会を実施しております。

参加条件：

私立大学図書館協会加盟する北海道地区の図書館員
(月例会は、札幌近郊の大学図書館で実施いたします。)

応募条件：

参加条件を満たしていれば特にありません。

開催頻度：

月例会 年6回

研究合宿：

会員の意見を聞き
実施するか否かを
決定します。

年会費：

無し

募集人員：

10名程度

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： 情報リテラシー教育研究分科会

代表者氏名：内堀勇二
所属機関：立教大学

TEL：03-3985-2809
FAX：03-3985-2819
E-mail：uchibori@rikkyo.ne.jp

研究テーマ： 図書館員が主体となつて行う情報リテラシー教育

図書館による情報リテラシー教育に関しては会員校の各大学ともに業務がマニュアル化されておらず、業務の継承性の問題が浮き彫りとなっている。この状況を鑑みて、第三期（2006-2007）では「業務マニュアル骨子の整備化」を研究テーマとした。本研究会で扱う情報リテラシー教育は、データベース等の情報検索方法に関する、一歩踏み込んだものを研究対象としている。

研究計画：

今までの研究は主に成功を前提としたものを対象とし、成功事例の例示がほとんどであった。しかし、実際は失敗の例も沢山あるはずである。2008/2009 年度の研究活動では「情報リテラシー教育における失敗例」の研究を行う。失敗例について研究することで図書館員による情報リテラシー教育成功への一石を投じたいと思う。

<1 年目> 失敗例の情報収集

<2 年目> 失敗しないためのマニュアル整備

参加条件：

研究テーマに関心のある方。
図書館勤務経験 1 年以上 5 年以下の方。（2007 年度末の時点で）
現在どのような業務を担当なさっていても参加することができます。

応募条件：

毎月一回の月例会（年 10 回程度）、夏期集中研究に職場の理解を得て必ず参加できる方。

開催頻度：
年 10 回程度
（予定）

研究合宿：
夏期集中研究
（通いによる研究）
8000 円

年会費：
3000 円

募集人員：
10 名前後

2008 / 2009 年度研究分科会会員募集要項

名 称： L-ラーニング学習支援システム研究分科会

代表者氏名： 阿部 潤也 TEL : 043-270-3795
 所属機関： 東京歯科大学 FAX : 043-270-3578
 E-mail : abejun@tdc.ac.jp

研究テーマ：

大学図書館員の自己点検、自己評価、自己研鑽を目的とした学習支援システムの構築並びに評価、分析を行う。

研究計画：

1. L-ラーニング学習支援システムのブラッシュアップおよび普及
2. eラーニングをテーマとしたセミナーに参加、あるいは実施

参加条件：

1. 自己のスキルアップを求めている
2. 大学図書館員のスキル向上やeラーニングに興味を持てる

応募条件：

特になし(担当業務、経験年数は不問)

開催頻度：
年6回の例会

研究合宿：
なし

年会費：
なし

募集人員：
制限なし